ある。七組に住む人た 災害が起きる可能性は いが、山に近いので、 域などには入っていな

くると水害が起きるか

たまって一気に流れて

を使って、二百ミリを

ように雨量計測バケツ

れていて、倒木に水が

七組の近くの山は荒

とき、早く避難できる

また、大雨が降っ

もしれない。そこで、

000

が山から出てきたとこ 昨年の八月に大量の水

るという。

回すの約束を作ってい

プけをしている。

上戶区北部七組は、

るために、

对第十近所

人なで協力して山の片

ないのき地域

月に小さな水害が起き 方で沼のようになるが、 八るために鈴木寿敏上 な災害が起こるのか調 きる可能性がある。そ 本来なら山のふもとの た。山から出た水が、 戸区長に該をきいた。 こで自分の地域はどん が起きた。西箕輪も山 山の手入れのために作 に近く、工砂崩れが起 地震や大雨による水害 た道を流れて行ってし 今年、日本の各地で 上戸区では昨年の八 すごく成長した木もあ も荒れている。しかも まになっていて、とて えを取り忘れていて起 れてそのままの木の枝 る可能性もある。切ら は橋をつくるための支 うこともあった。これ して流れ、橋につまっ う上戸の川に土石流と ヤエが「北の沢」とい いろ人の家に倒れてく 山の近くに住んで 水があられたとい

最近一番大変だったこ を出すが、道を作った そうだ、たので、土の ことがあった。この山 方に誘導した、という とだった。また、この うを使って水を水路の まい、民家に被害が出 がもともとたくさん水 しらないものがそのま 害の方が多いようだ。 成区域になっている。 を見てみると、上戸区 区域に入っているが、 流よりちょ、とした水 は土石流の土石災害奏 区長は、「今までのこ 私の家も工砂災害勢成 しかし、実際には土石 のは とを考えると、危険な 伊那市の防災マップ 北の沢の面側十 20份祭门步 長に F Utio 多 区

実際

U TATT=0

ためい起きたことで、

伐採した木で、

木

を想定して作られてい と思ういと言っていた。 るし、今までに特別大 つ起こるか分からない。 きな災害が起きたとき 防災マップはとても大 しっかりと、対策をし た。しかし、災害はい ておくことが必要だ。 きな労害は全人無かっ メートルくらいだけだ ろだ。土砂災害警戒区

山の中の子直、 区長が提供してくれた 3 避難所に避難すること 災害が起きたとき、

警戒区域に入っている ると、集落センターは 落センターは土砂災害 上戸集落センターもそ ところが遊難場所にな 学校や公民館、様々な があるかもしれない。 の一つだ。しかし、集 ているが、上戸にある マップの裏面を見てみ くにある。伊那市防災 かも此の沢のすぐ近

ちは、災害から身を中 七組の人たちは組のみ

束がある。

みんなで避難という約

百五十ミリもこえたら こえたら遊難準備、二

難場所にしている。 とき使用不適切と書 土石流が来たことがな まで集落センターまで いので、区は一次的過 いてある。しかし、今 「がけ崩れ、土石流の

区長は七組の人たちの ところもあるだろう。 りや小さな子供がいる がいるのかよくたって ように近所にどんな人 おいて、 また、近所にお年寄 雑が様子を見

を決めておくと良いと 言ていた。 に行って手伝うかなど

声をかけ后って、みん

なで対策をしている。

左したり、近所の人と

なく、日ごろから対策

七組は災害時だけで

家にいるとは限らない。 災害が起きたときに、 様々なパターンを考え ていた。 が大切だと区長は言 て対策をしておくこと どの対策と行っている の整備の要すをするな とを作ったり、市に山 で災害時のタイムライ 区では、自主防災会

区長が1717でいる 編

資料を使って話してく くさんあった。様な れた区長に感謝する。 知らなかったことがた 区長の話をきいて、

库の中を見せて 急解、コンケリ 械、テント、リ は、発電機、救 もらった。中に くさ人の物が入 カーなど、た トが切れる機 特別に防災層 境庫へ中

集後 記